

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

！ 警告

絶対に分解したり修理・改造しないでください。



分解禁止



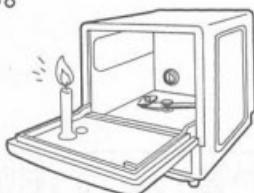
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

●修理は販売店へご相談ください。

火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火氣や、揮発性の引火物を近付けないでください。



火氣禁止

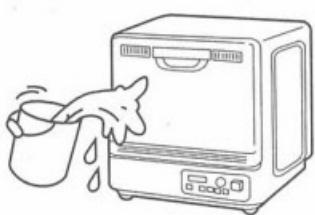


火災や変形の恐れがあります。

水につけたり、水をかけたりしないでください。



禁止



ショート・感電の恐れがあります。

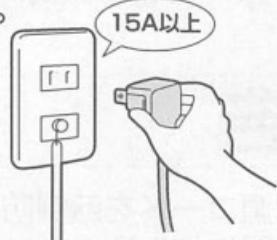
電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。



火災の原因になります。

⚠ 警告

定格15A以上のコンセント(専用)を単独で使ってください。

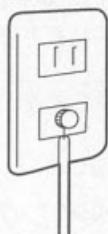


他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

アースを確実に取り付けてください。



アース線接続



故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

- アース工事は必ず販売店に依頼してください。

⚠ 注意

交流100V以外では使用しないでください。



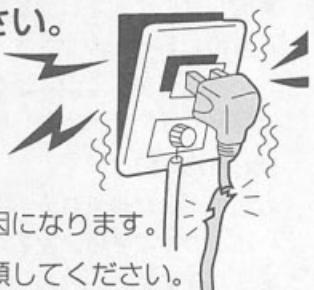
火災・感電の原因となります。

禁止

コンセントの差込みがゆるいときや、電源コードや電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。



禁止



感電・ショート・発火の原因になります。

- 販売店に点検・修理を依頼してください。

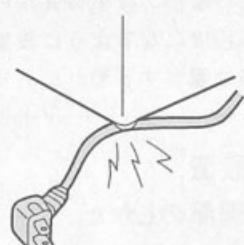
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

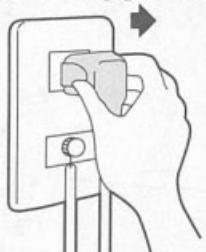


禁止



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。

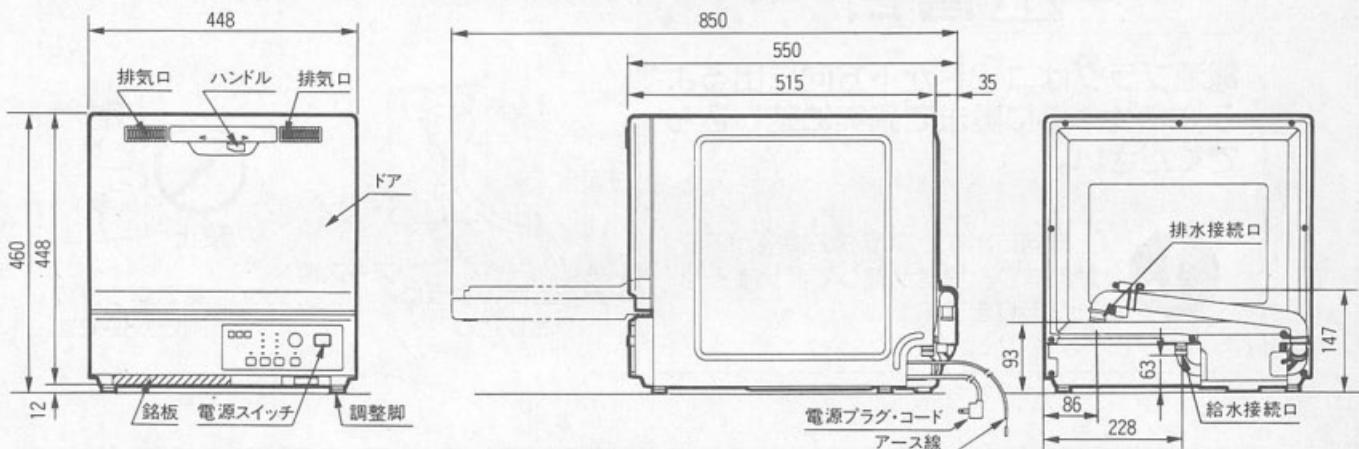


感電やショートして発火することがあります。

工事をされる方へのお願い

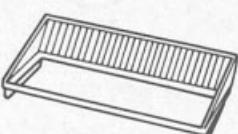
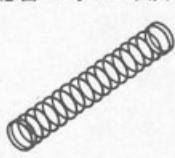
- 本機は建築基準法に基づく、排水管接続直結タイプです。
- 配管工事は全て水道法、建築基準法、各都市の条例、規定に準じて行ってください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据え付け工事説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 工事終了後 **工事後の点検** のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は工事終了後、お客様へお渡しください。
- 据え付け工事に関して不明な点がありましたら事業部へご相談ください。

1 名称及び寸法図(単位:mm)



2 付属品の確認

- 設置工事を始める前に、付属品の有無を確認してください。

付属品	ご使用時に必要な付属品	据え付け工事に必要な付属品		
	専用洗剤 (100g)  (計量スプーンつき)	排気口カバー  (2個)	排水ホース (配管工事の時使用)  (1本)	ホースバンド (配管工事の時使用)  (各1個)
		ホーススプリング (配管工事の時使用)  (1個)	フィルター (配管工事の時使用)  (1個)	パッキング小 (配管工事の時使用)  (1個)

3 設置前のご注意

1. 電源の確認

- 工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。
- 本体操作パネル下面に貼ってある銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。
- 電源コンセントは、125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを使用してください。タコ足配線は絶対にしないでください。
- 電源回路は100V、15A専用回路が必要です。

！警告

定格15A以上のコンセント（専用）
を単独で使ってください。



他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

！注意

交流100V以外では使用しないでください。



禁止

火災・感電の原因となります。

漏電しや断器の設置について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しや断器の設置が必要です。

推奨漏電しや断器——住宅分電盤用小形漏電ブレーカー

品番(松下电工)BJS 203

定格電流20A、感度電流30mA
(AC100-200V両用)

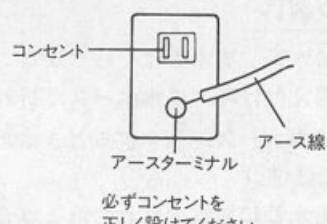
既設分電盤の分岐安全ブレーカーHB型と同一サイズですから、そのまま取り替えでき、専用回路の漏電保護ができます。

※尚、主幹に漏電しや断器が設けてある場合は、新たに漏電しや断器を設置する必要はありません。

2. アースについて

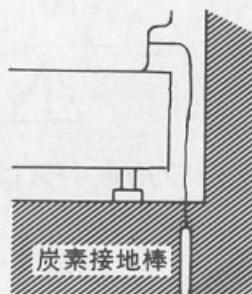
- 万一の感電事故防止のため、必ずアースしてください。
- 炭素接地棒(別売: ANP3C-160)を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
(電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。)
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令などで禁止されています。)
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
- アース工事は有料ですのでご了承ください。
- ご不明の点はお買い上げの販売店か電気工事店にご相談ください。

アースターミナル付 専用コンセントの場合



必ずコンセントを
正しく設けてください。

炭素接地棒を使用の場合



※(アンダーカウンター)
(ビルトイン仕様の図)

3. 給湯機の確認

- 給湯は中型以上の深夜電力利用温水器、石油給湯機、10号以上の先止め式給湯機等で70°C以下の温度に調整可能な機器に接続してください。

※電気温水器には別売のミキシングバルブ(AD-M2140、AD-2140N(寒冷地用))(松下部材センター扱い)の接続をおすすめします。

- 小型深夜電力利用温水器には接続しないでください。製品へ給水されない恐れがあります。
- 食器洗い乾燥機の水道水圧は0.03~1MPa(0.3~10kgf/cm²)の範囲で使用してください。

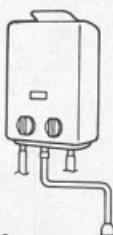
⚠ 注意

元止め式湯沸器には接続しないでください。



禁止

湯沸器からの水もれの恐れがあります。



高水圧地域では給湯機に所定の減圧弁を必ず取り付けてください。



水もれの原因になります。

4. 設置場所の確認

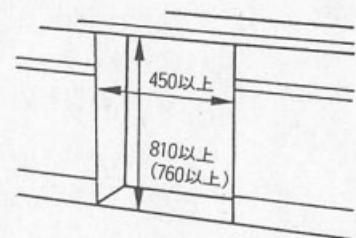
■アンダーカウンターのビルトイン場所の確認(単位:mm)

〈アンダーカウンターにビルトインする場合は、専用置台ユニット(N-P45B1:別売)が必要です。〉

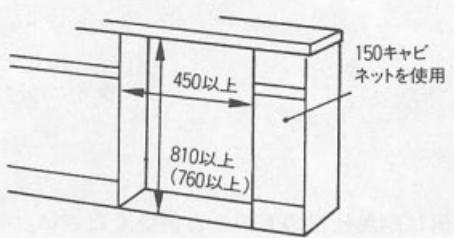
下図寸法はキッチン高さ850mmの場合。

()内寸法はキッチン高さが800mmの場合を示す。

●中間にビルトインする場合

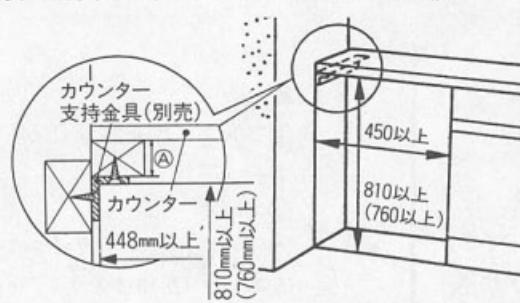


●片側がフリーの場合



※片側がフリーの場合、幅150キャビネット等を使用してカウンターを支え、食器洗い乾燥機をビルトインする等の処置を施してください。

●片側が壁面又は、トールキャビネットの場合



※カウンター支持金具(N-L2:別売)の取り付けはN-L2の工事説明書に従って取り付けてください。

※締結ビスの長さは、右図のⒶ寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。

電気設備技術基準182条により義務づけられています。

お願い

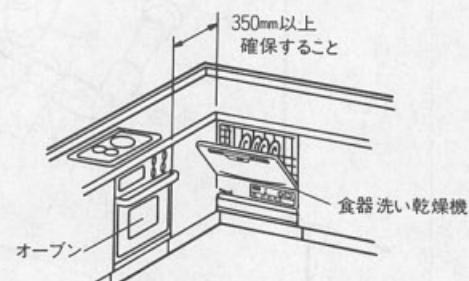
- ビルトイン型ガス機器等と並べて食器洗い乾燥機を設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、カウンターがたわむことがありますので、カウンターの補強処置を施してください。

(カウンター支持金具N-L2:別売)

- 流し台がL型配列の場合、食器洗い乾燥機をコーナー部に設置すると、オープン等の位置によっては、本機のドアを開閉する際にオープン等の取手部に当ったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでご注意ください。

※本機の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電気的に接触しないようにしてください。

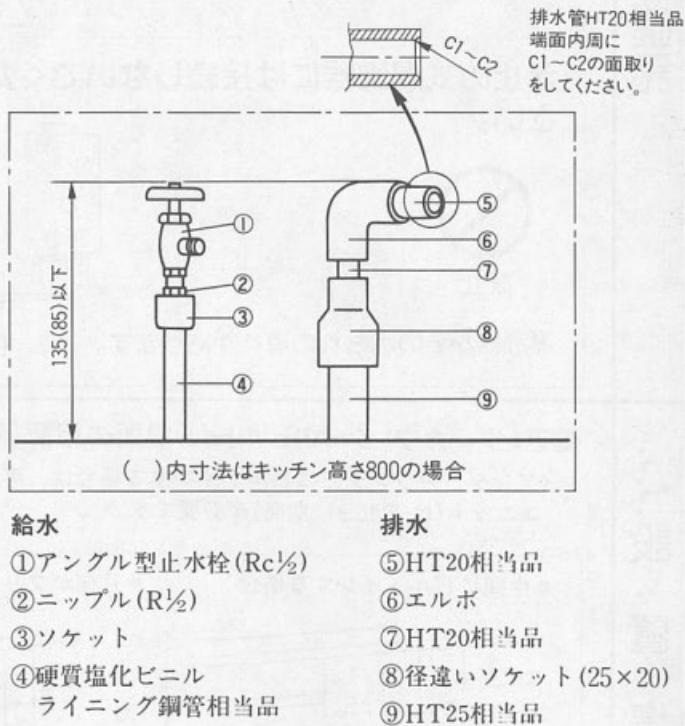
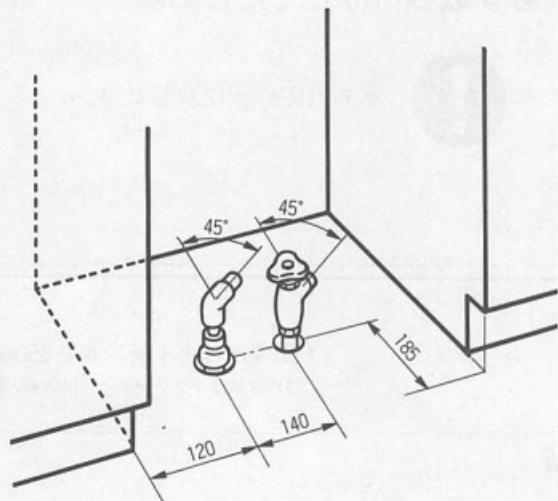
電気設備技術基準182条により義務づけられています。



給水側は硬質塩化ビニルライニング鋼管を使用してください。また、給湯機に接続する場合には耐熱仕様の給湯用塩化ビニルライニング鋼管を使用してください。
排水側は必ず耐熱仕様のものを使用してください。

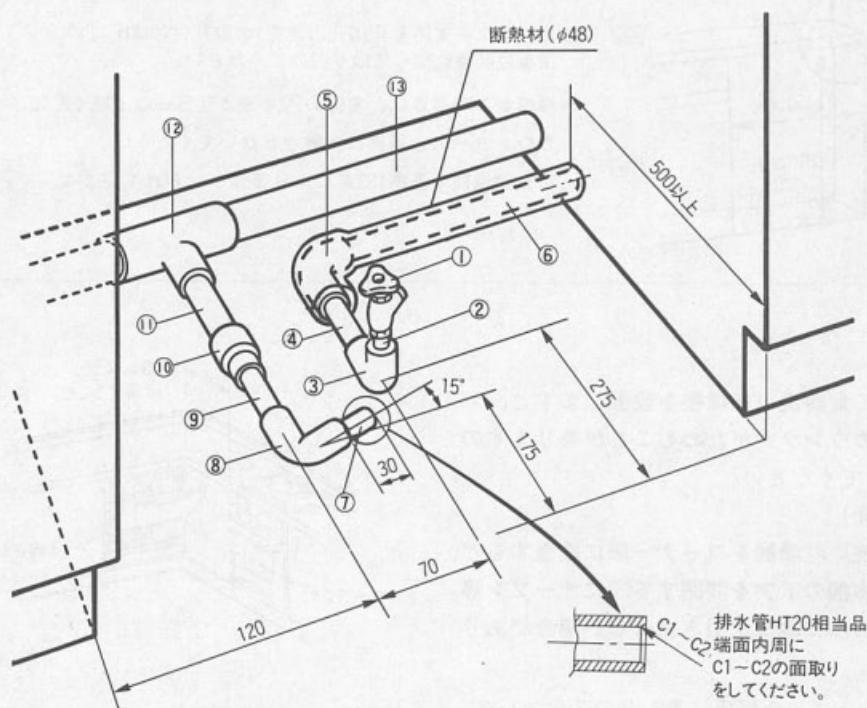
配管工事が下図の寸法になっているか確認してください。工事誤差は±10mmです。

1. 床立ち上げ配管例



給湯接続する場合には、給湯側は耐熱仕様のものをお使いください。

2. 床ころがし配管例(キッチン高さ850対応)



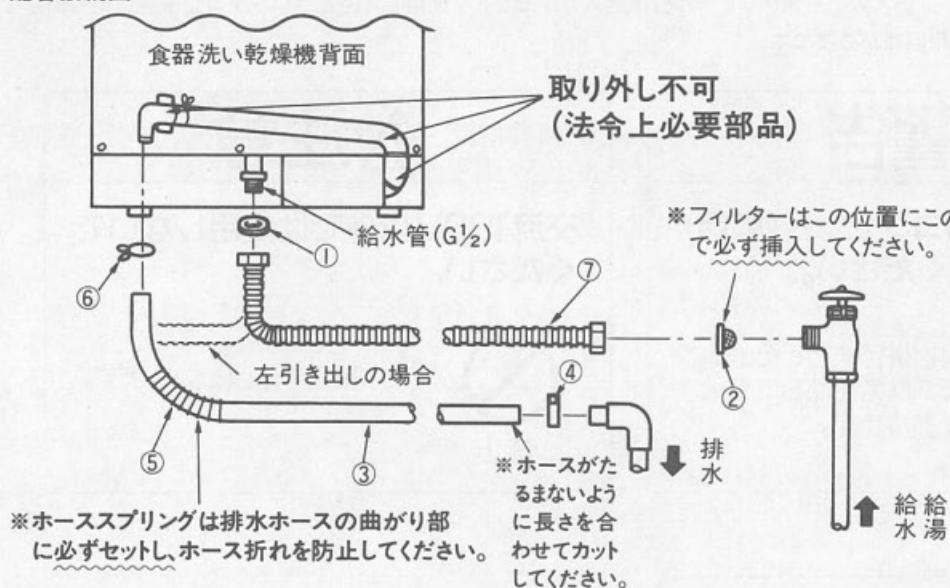
給湯接続する場合には、給湯側は耐熱仕様のものをお使いください。

4 本体の設置

1. 給・排水管の接続

■給水・排水の配管(※配管工事は、水道法、居住地の条例に従ってください。)

●配管接続図



付属品

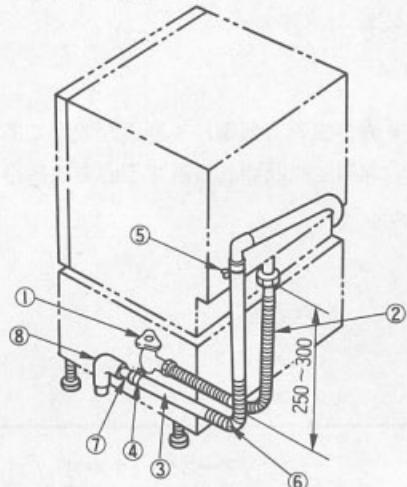
- ①パッキング(小)
- ②フィルター
- ③排水ホース
- ④ホースバンド
- ⑤ホーススプリング
- ⑥ホースバンド

現地調達

⑦フレキシブル管(G1/2)
($\ell = 600$)

●床立ち上げ配管の例

上図の配管接続図に従い、左図のように配管してください。



- ①アンダル型止水栓(Rc $\frac{1}{2}$)
- ②フレキシブル管(G $\frac{1}{2}$)($\ell = 600$)
- ③排水ホース(同梱)
- ④ホースバンド(同梱)
- ⑤ホースバンド(同梱)
- ⑥ホーススプリング(同梱)
- ⑦HT20相当品
- ⑧エルボ

お願い

- 給水管、排水管はぐらつかないようしっかりと固定してください。
- 据え付け時、排水ホースが折れないようご注意ください。(据え付け後は必ず確認してください。)
- 排水ホースが長すぎるとときはカットしてください。(長すぎると途中で折れ曲がって排水できなくなり、異常を報知します。)
- 給水管に結露の恐れのある場合は、断熱材を巻く等の処置をしてください。
- 管内に残っている異物(切り粉など)を完全に取り除いてから接続してください。(目詰りによる故障を防止します。)
- フレキシブルホースの曲げRはR25以上として全体寸法を調整してください。

！注意

フレキシブルホースは切断しないでください。



水もれの原因となります。

禁止

■電源コード・アース線の接続

- ①電圧が100Vであることを確認してから埋込みコンセントに電源プラグを差し込んでください。
- ②アース線をアースターミナルに接続してください。
※ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないで下さい。(法令等で禁止されています)

⚠ 警告

アースを確実に取り付けてください。



故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

アース線接続

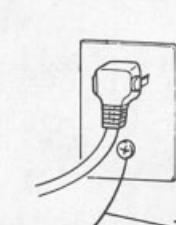
- アース工事は必ず販売店に依頼してください。

⚠ 警告

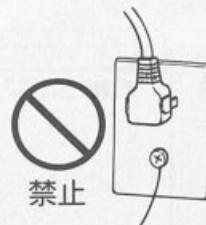
電源プラグはコードが下方向に出るよう、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。



上方向に出すとプラグの接触が不安定になり、異常発熱して発火する恐れがあります。



上図のように
差し込む
アース線



禁止
電源プラグの
向きが逆です。

⚠ 警告

電源コードを切断したり、屋内配線ケーブルと直結したりしないでください。



感電・漏電や火災の原因となります。

禁止

コンセントを床面にころがして、電源プラグを差し込み使用しないでください。



感電・漏電や火災の原因となります。

禁止

■機器をビルトインしてください。

- 設置場所の確認をしてください。
 - 専用置き台ユニット(N-P45B1)をご使用ください。
 - アンダーカウンターにビルトインする場合の設置工事は、専用置き台ユニットに同梱の据付工事説明書をよくお読みのうえ、正しく工事してください。
- ※本体の金属部分が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電気的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。

!**警告**

ビルトインのとき電源コード、アース線、排水ホース、給水管に傷をつけないでください。



感電・漏電・火災や水もれの原因となります。

禁止

電源コードを転倒防止金具や調整脚との間に挟み込まないでください。



感電・漏電や火災の原因となります。

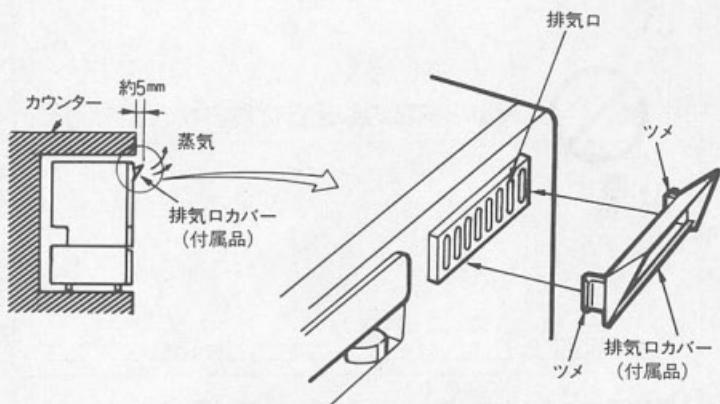
禁止

■排気口カバーの取付けについて

- 流し台によっては食器洗い乾燥機を設置後、排気口から出た蒸気がカウンターに当たり、支障をきたす場合があります。このような場合は、図のように、付属品の排気口カバーを取り付けてください。

〔取付け方法〕

右図のように排気口カバーを、ドア上部の排気口穴にはめ込んでください。左右のツメが排気口穴に入り込み固定されます。



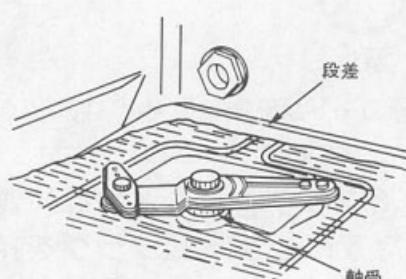
お願い

食器洗い乾燥機の排気口穴から出た蒸気がカウンターに当たる場合は、排気口カバーをご使用になり、カウンターからの出代が5mm程度になるように設置してください。排気口カバーがない場合、カウンターの裏面に湿気が入りカウンターの材質によっては腐食する恐れがあります。

■水平設置

1. 水平調節のしかた

- 設置する時、事前に調整脚を回して、水平調整をしてください。
別売の専用置台(N-P45B1)を使用される場合は付属の据付工事説明書を参照してください。



2. 水平確認のしかた

- 6項の試運転を行ってください。
- 試運転時に洗浄が始まったら「スタート／一時停止」ボタンを押し、ドアを開いてください。
- 水面が庫内奥の段差と平行になっているか確認してください。
- あわせて水面がノズルの軸受けのつばの矢印の部分より上にあることを確認してください。



5 設置工事後の点検

●チェックリスト

点 検		点 検 内 容	参照項目	チ ケ ッ ク
機 器 そ の 周 辺	電 源 (電 壓・周 波 数)	使用電源は銘板に適合していますか。	3 - 1	
	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	3 - 4	
	排 気 口 カ バ ー の 装 着	アンダーカウンターにビルトインする場合、カウンターの最前部より5mm程度出ていますか。	4 - 2	
給 水 ・ 排 水 接 続	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか。	3 - 3	
	フ イ ル タ ー	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか。	4 - 1	
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。 また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか。	4 - 1	
電 气 接 続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15A以上のII型に接続しましたか。	3 - 1 4 - 2	
		アース線を接続しましたか。	3 - 2 4 - 2	

6 試運転

■取扱説明書にもとづき、試運転を行ってください。なお、次の手順で試運転を行うと短時間で行うことができます。

- ①止水栓を開きます。
- ②ドアを閉じます。(ハンドルを「とじる」の位置までいっぱいに動かしてください。)
- ③「電源スイッチ」を「入」にします。
- ④「予洗」コースボタンを押した後「スタート／一時停止」ボタンを押してください。
- ⑤「予洗」コースが開始し、約5分間で終了します。
- ⑥右の確認を行ってください。

- 一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転します。
(噴射音：バシャバシャ音が聞かれるか確認してください。)
- 運転中、給・排水接続部や止水栓、その他からの水もれがないことを十分確認してください。
- 運転が終了しますとブザーが鳴り「電源スイッチ」が「切」になりますので、ドアを開け庫内の水が排水されていることを確認してください。
(残菜フィルターの下に若干の水が残りますが、これは異常ではありません。)

7 お客様への取扱い説明

- ①取扱説明書によって製品の取扱いを説明してください。
- ②保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

松下電器産業株式会社 洗濯機事業部

〒561 大阪府豊中市神州町1番2号
電話 (大阪06) 331-0051番(大代表)